

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	心電図解析を用いたてんかん発作の検知・予知・鑑別診断プログラムの開発のための研究
研究責任者	東京医科歯科大学医学部附属病院心身医療科 宮島 美穂 聖隷浜松病院小児神経科 榎日出夫
研究実施体制	多施設共同研究 代表研究施設 東京医科歯科大学医学部附属病院心身医療科 宮島 美穂
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日
対象者	2001 年～2017 年に聖隷浜松病院にて長時間脳波モニタリングを行った患者
研究の意義・目的	てんかん発作を予知する方法として、心電図変化、体動を用いる方法がある。この研究では、心電図と同時に記録した脳波のデータを用いて、てんかん発作が起きる前の心電図変化を調べることで発作予知や真の発作を起しているかの判断に役立つ因子を解析する。成功すれば発作が事前に予知して対応したり、発作が本当の発作であるか(心身症の症状との鑑別)知ることに役立つ。
研究の方法	当院で検査した長時間脳波モニタリングを行った 20 名程度の患者から、脳波および心電図データ、発作の形、患者の検査時年齢、発症年齢、内服、外科治療の有無、性別などの大まかな臨床情報を用いる。 脳波データは東京医科歯科大学にて解析し、心電図 R-R 変化と発作の関係をコンピュータを用いて数学的に解析し、どのような変化が発作前や発作中に起きるかの法則性を見つける。
個人情報の取扱い	本研究で利用する脳波・心電図情報や病歴情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除(ビデオ情報も削除)した上で聖隷浜松病院から研究元の東京医科歯科大学に送付されます。研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかん科 藤本 礼尚 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 月曜から金曜